

1. 第4次松山市下水道整備基本構想の位置づけ

1 第4次松山市下水道整備基本構想の趣旨

本市の下水道事業は、平成20年2月に策定した「第3次松山市下水道整備基本構想」に基づき、未普及地域の計画的な整備や地震対策及び浸水対策等を進めています。

その結果、下水道処理人口普及率は61.3%にまで伸び、下水道サービスを受ける人口は増加していますが、将来的には、人口減少社会の到来によって、徐々に減少していくことが予想されています。

また、「汚水処理施設を今後10年程度で概成する」という国の方針もあり、未普及地域への整備が急がれるものの、施設の老朽化対策や、市民の安全・安心を守るための浸水対策や地震対策も継続して実施する必要があり、費用対効果を考えて効率的な整備が求められています。

このような状況のもと、本市下水道事業の目指すべき方向性を見据え、下水道の役割や新たな課題への施策を講じるため、平成29年度から平成38年度までの10年間を計画期間とする『第4次松山市下水道整備基本構想』（以下「本構想」という。）を策定することにしました。

2 第4次松山市下水道整備基本構想の位置づけ

本構想は、本市の上位計画である「松山市総合計画」や「松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略」及び国土交通省から示された「新下水道ビジョン」などを反映して策定しています。

また、「厳しい経営環境を考え、中長期の経営計画が必要」との国の見解を受け策定している「松山市下水道事業経営戦略」と、投資・財源面等について連携した構想としています。

第4次松山市下水道整備基本構想と他の計画との関係



2. 基本方針と施策

本構想では、今回新たに『安全で快適な暮らしを守り、美しい環境を未来へつなぐ下水道』を基本理念として掲げました。

また、この基本理念を実現するため、下水道を取り巻く様々な課題に対し、今後10年間で重点的かつ積極的に取り組む目標として、これまで進めてきた『第3次松山市下水道整備基本構想』の4つの基本方針を継承するとともに、各種施策を7つに集約したうえで、経営に関する施策を「松山市下水道事業経営戦略」に移行し実施することにしました。

基本理念

安全で快適な暮らしを守り、美しい環境を未来へつなぐ下水道

前回構想からの見直し

